

2007-11-4 12:04

市民祭りでの感想

昨日今日は、わが町豊明市のイベント「商工祭り」でした。

小さな市ではありますが、近隣の町からも大勢集まり、市内が大渋滞をおこすほどの集客力です。その中で、税務署、法人会、青色申告会、納税貯蓄組合、税理士会と協力し、税金展を開催しています。税金クイズに応じて商品を出しますので、1日中行列です。今年の習字のテーマは「電子申告」でした。

例年、家族で参加していますが、私は今年は税務連絡協議会の会長と税理士会の支部長をかねて、習字・作文やポスター等を表彰する立場で、来賓として参加しました。

租税教育の一環としての表彰制度ですが、電子政府構想を推進するのであれば、全国各地のお祭り・イベントにブースを設けてアピールする必要がありますね。今年はフェアを東京と名古屋でやっていただいたわけですが、あのクラスのイベントを小さな町に至るまでチャンスがあれば開催すべきでしょう。

国税は「税」を一般納税者に理解していただくために、昔から努力しています。しかし、イザ納税となると大人たちはなかなか渋る。当たり前かもしれませんが、納税というものに対する意識は全体的に高いわけではない。ましてや、電子政府構想という新しい考え方は国民に理解して欲しいといっても、たいしたPRも無しではなかなか浸透しないと思いますね。国民にまで浸透しなくても良いという考え方があれば、これは余計な話になりますが。

せめて、全国各地のイベント会場に、電子政府構想関連のパンフを配布するくらいのことではやっていいのではないのでしょうか。できれば、わかりやすい絵や漫画で解説するとともに、電子政府構想が具体的に国民に何をもたらすことができるのかを明らかにした冊子なりを配布していただきたいところです。

ついでの話ですが、来賓席でとなりが市長でした。「電子申告はこれからドンド

ンやらないかね。手続きがめんどくさいときいているが・・・」「市長、問題なのは法人市民税だけが電子で受けていただけないことです！」と、ここぞとばかり言ってしまいました。市長クラスの方々の認識も、まだまだですね。全国の市長クラスを集めて電子政府構想を浸透させるということもやって欲しいです。